

令和4年度  
まちづくりの方針と予算

特別会計 (特定の事業を行うための会計)

予算額 188億2,850万円

内訳	国民健康保険	151億951万6千円
	後期高齢者医療	32億9,360万6千円
	国清寺土地区画整理事業	3億138万3千円
	ふかや花園駅前土地区画整理事業	1億2,399万5千円






企業会計 (特定の事業をその事業の収入で運営する会計)

予算額 123億3,926万5千円

内訳	水道事業	57億2855万円
	下水道事業	66億1,071万5千円

市民1人あたりで計算すると…

市民1人あたり約**36.8万円**が使われます。  
(一般会計予算を3月1日現在の人口142,127人で計算)

子育て・福祉	道路・まちづくり	ごみ処理・環境	市役所運営・防災	その他
 子育て支援、高齢者・障害者福祉の充実など 約 <b>16.3万円</b>	 道路や橋の整備・維持管理など 約 <b>3.5万円</b>	 ごみ処理、資源リサイクル、生活環境保全など 約 <b>2.8万円</b>	 住民票や戸籍の交付、防災対策など 約 <b>3.3万円</b>	 教育や消防など 約 <b>10.9万円</b>

ポストコロナの新しい社会を見据えた成果重視の予算

～『みんながうれしい ふかや』への第一歩～

令和4年度

まちづくりの方針と予算

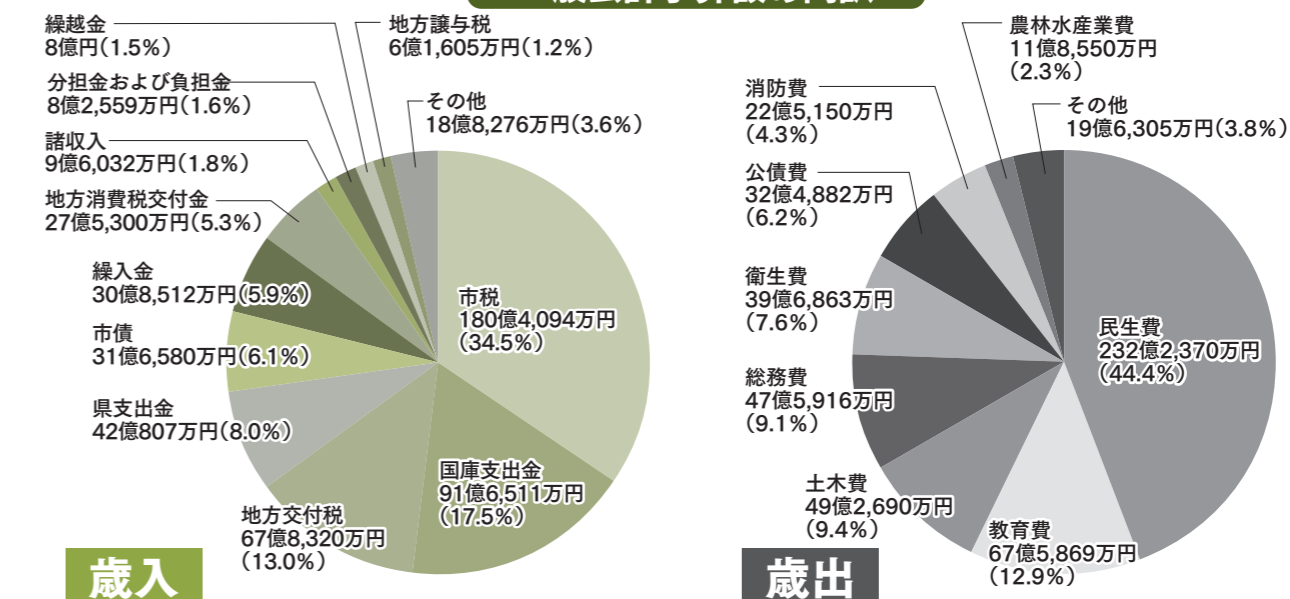
今年度の予算は、行政評価と予算編成の連動を強化するなど、創意工夫を重ねるとともに、国の地方財政対策も踏まえつつ、ポストコロナの新しい社会を見据えた成果重視の予算として編成しました。今年度の予算総額は、834億5,371万2千円(前年度比1.7%減)で、内訳は次のとおりです。

当初予算 総額 **834億5,371万2千円**  
(前年度比14億7,135万円減)

一般会計 (市の基本的な事業を行うための会計)

一般会計 当初予算額 **522億8,594万7千円**

一般会計予算額の内訳



歳入

最も大きな割合の市税は、景気の回復基調に鑑み、個人、および法人市民税の増加を見込んでいます。

歳出

高齢者や子どもなどさまざまな福祉分野に使われる『民生費』が歳出の中で最も大きな割合を占めています。

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります

令和4年度施政方針より抜粋

『みんながうれしい ふかや』の実現に向けて

深谷市長 小島 進



私は、先の市長選挙におきまして、4期目の市政を担わせていただくこととなりました。改めて、14万2千人の市民の皆さまの期待を背負い、その重責を全うすべく、今後の深谷市政の運営にあたり『みんながうれしいふかやをつくる』、それが私に課せられた使命であると決意を新たにしているところであり、全力で深谷市の発展に邁進する所存でございます。令和3年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、先行き不透明な状況が続く一方で、大河ドラマ『青天を衝け』の放送開始など、郷土の偉人渋沢栄一翁が本市に明るい話題を運んでくれました。栄一翁が肖像となる令和6年の新一万円札の発行に向けて、本市を訪れた方々が市内のさまざまな魅力に触れていただけるよう、さらなる取組を進めてまいります。

そして、花園インターチェンジ拠点整備プロジェクトにおきましては、いよいよこの春に『深谷テラス』、秋に『ふかや花園プレミアム・アウトレット』がオープンを迎えます。今後、アウトレットを訪れた人々に、市内を回遊していただくことで、市全体の活性化につなげてまいります。栄一翁は、多くの事業の立ち上げに携わりましたが、軌道に乗った段階で人に託しておりました。しかしながら、東京養育院だけは『困窮を助けることは、社会の義務である』と訴え、誰一人として置き去りにしてはならないという強い意志を持ち続け、最後まで自らが院長として事業に携わり続けておりました。

この理念は、国際目標として掲げられたSDGs『誰一人取り残さない』という目標の先駆けであります。私はこの栄一翁の強い意志をしっかりと受け継ぎ、市民の皆さまと共に『誰一人取り残さない みんながうれしいふかや』を築いていく所存でございます。

誰もがともに学べるきめ細かな支援体制を整備します

 学校支援員の充実

いじめ・不登校対策事業 特別支援教育事業 中学校教育活動推進事業

取り組み：各種学校支援員の増員（合計26人増）

①学校総合支援員 10人→19人 ②インクルーシブ支援員3人→10人

③中学校学力向上支援員 0人→10人

必要経費：2,491万3千円の増

【参考】1,494万7千円(令和3年度)→3,986万円(令和4年度)

小中学校に係るさまざまな支援員を充実することにより、夢を育む『学び』、および夢を支える『教育環境』の充実につながるよう取り組みを推進します。



高齢者や障害者の安全・安心な在宅生活を支援

 住宅改修補助制度の拡充

高齢者在宅福祉サービス事業 障害者日常生活改善事業 地域生活支援事業

取り組み：

(高齢者在宅福祉サービス事業)

①補助金額の上限を10万円から20万円に引き上げ

②対象者を介護保険法適用外の65歳以上のすべての高齢者へ拡充

(障害者日常生活改善事業・地域生活支援事業)

③対象者を障害の種類や等級を問わず、『生活のしづらさを改善できる障害者または難病患者』へ拡充

高齢者や障害者の方々が、不便なく、安全・安心に在宅生活を過ごせるよう支援の充実を図ります。補助制度の申請方法など詳しくは12ページをご覧ください。



岡部駅の利便性を向上し深谷の西の玄関口として魅力を高めます

 岡部駅橋上駅舎化に着手

岡部駅橋上駅舎化事業

取り組み：岡部駅橋上駅舎化に向けた基本計画を策定

岡部駅を、南北いずれからもアクセス可能な、自由通路を兼ね備えた橋上駅舎化へと整備を図るとともに、周辺整備を行うことで、地域の利用者の利便性を高め、本市の西の玄関口としての魅力を高めます。



令和4年度 主な重点施策

子育てしやすい環境を整備します

 第2子保育料の無償化 県内初

私立保育施設運営事業

歳入：保育料 1億2,050万円減少 歳出：補助金 1,350万円増加

影響額：1億3,400万円

県内初の取り組みとして、子育て世帯の保育料の負担軽減を図るため、第2子保育料を無償化します。2人目以降の子どもを望む保護者が子育てしやすい環境を整備し、少子化対策を推進します。第2子保育料の無償化は申請が必要です。詳しくは市ホームページをご覧ください。



病気の予防や早期発見・早期治療により健康を保持

 人間ドックなどの受検費用の助成金額を拡充

国民健康保険・後期高齢者人間ドック等助成事業

取り組み：助成金額を1万7,500円から3万円へ大幅増額

必要経費：5,545万円の増加

【参考】1,925万円(令和3年度)→7,470万円(令和4年度)

対象は満30歳以上の国民健康保険の被保険者および後期高齢者医療の被保険者で、人間ドック、または脳ドックの受検に係る費用を助成します。この取り組みにより、病気の予防や早期発見および早期治療による被保険者の健康保持を図ります。対象や申請方法など詳しくは広報ふかや5月号折り込みチラシまたは市ホームページをご覧ください。



郷土の偉人『畠山重忠公』の顕彰機運を盛り上げます

 はたけやましげただ  
畠山重忠公プロジェクト

畠山重忠顕彰事業

取り組み：企画展や講演会を開催

必要経費：501万7千円

NHKの大河ドラマ『鎌倉殿の13人』では、郷土の偉人である『畠山重忠公』が注目されています。本市ゆかりの人物が大河ドラマで描かれる好機を生かし、関係団体とともに重忠公の顕彰の機運をさらに盛り上げる取り組みを実施します。

